

強いのはスポーツだけではない津幡高校 総合学科は農業にもつよいぞ！

津幡高校の総合学科にはビジネス系列・花と緑系列・人文国際系列・自然科学系列があります。今回は**花と緑**系列の取組を特集します。

総合学科の生徒は2年生から上記の系列に分かれますが、1年生は全員グリーン基礎という科目を週2時間履修します。この授業は野菜を育て収穫したり、花を植えたり、自然に親しむ基礎を学ぶ授業です。

2年生になると花と緑系列に進んだ生徒は、「野菜」や「総合園芸」「草花」そして「農業と環境」など、より専門的に農業を学ぶ機会があります。収穫した野菜は近くのAコープや道の駅等に卸し販売をしてもらいますが、11月には生徒が自分たちで収穫した野菜を直接町の人に格安で販売をする機会を設けています。



卒業後の進路

農業関係の大学、短大、専門学校JA、一般企業など多種にわたります。専門を活かして農業関係に進むもよし、別の道に進んでも学んだことは生きていくうえで役に立ちます。



総合園芸



自分達の育てた花で花壇を作ります。

クワの実



クワの木



クワの葉



クワの栽培

津幡高校は92年前に河北農蚕学校として創立され、現在のグラウンドは全てクワ畑であったそうです。8年後に創立100周年を迎えますが、その100周年にはクワを学校の名産品にしようと再びクワを栽培しています。クワはかつて蚕(かいこ)の餌(えさ)として栽培されており、津幡町は蚕の産地でした。現在クワは葉をお茶にすると健康によいと注目を浴び、蚕が作る繭(まゆ)は美肌効果があるそうです。またクワの実(クワの実)は甘酸っぱく、大変美味しいものです。マルベリーと呼ばれ、ベリー類としてケーキにのせるなど人気があります。

部紹介⑤ 園芸部・朱鷺サポート隊

ボランティア活動を中心に活動しています。里山保全、東日本大震災被災地の慰問や園芸部の生徒が中心の朱鷺サポート隊による活動など、活動は多岐にわたります。朱鷺サポート隊は「トキを再び石川の空に」のキャッチフレーズの元、トキが住みやすい環境作り、餌(えさ)になるドジョウやホンモロコを休耕田で飼育し、いしかわ動物園に毎年贈呈しています。また佐渡の高校との交流も行っています。